

平成30年度 第1回嘉麻市公民館運営審議会

1. 開催日時 平成30年5月29日（火） 10:00～11:30
2. 開催場所 嘉麻市嘉穂生涯学習センター夢サイトかほ 大研修室
3. 公開又は非公開の別 公開
4. 傍聴人数 0人
5. 出席者

【審議会委員】

<input type="checkbox"/>	正平 辰男		堀口征一郎	<input type="checkbox"/>	大山 征男	<input type="checkbox"/>	吉田 博満	<input type="checkbox"/>	山口 俊徳
<input type="checkbox"/>	大木 秀一	<input type="checkbox"/>	櫛 ひろ子	<input type="checkbox"/>	手島 静恵	<input type="checkbox"/>	森田 信代	<input type="checkbox"/>	春口 勇介

【事務局（教育委員会）】

<input type="checkbox"/>	教育長	木本 寛昭	<input type="checkbox"/>	生涯学習課長	長岡 和広
<input type="checkbox"/>	生涯学習課長補佐	田原 薫	<input type="checkbox"/>	中央公民館係長	山本 賢治
<input type="checkbox"/>	中央公民館係	末永 美津子	<input type="checkbox"/>	中央公民館係	本松 紗季
<input type="checkbox"/>	嘉穂地区公民館長	田中 隆	<input type="checkbox"/>	山田地区公民館長	松岡 一彦
<input type="checkbox"/>	碓井地区公民館長	福田 勇	<input type="checkbox"/>	稲築地区公民館長	宇佐波 吉徳

6. 委嘱書交付 教育長より交付
7. 開会のことば 中央公民館係長 山本 賢治
8. 教育長あいさつ 教育長 木本 寛昭
9. 自己紹介（委員・職員） 委員並びに職員の順にて自己紹介
10. 議題

(1) 嘉麻市公民館運営審議会 委員長、副委員長の互選について

委員長（ 櫛 ひろ子 ）

副委員長（ 大木 秀一 ）

嘉麻市公民館条例施行規則9条及び同条第2項に基づき、委員長、副委員長を互選により選出。

(2) 嘉麻市社会教育委員の選任について（1名）

推薦委員（ 手島 静恵 ）

(3) 嘉麻市教育委員会点検評価委員の推薦について（1名）

開催予定日

第1回 平成30年7月18日（水）13:30～16:00 嘉穂庁舎

第2回 平成30年7月25日（水）13:30～16:00 嘉穂庁舎

第3回 平成30年8月1日（水）13:30～16:00 嘉穂庁舎

予備日 平成30年8月8日（水）13:30～16:00 嘉穂庁舎

推薦委員（ 春口 勇介 ）

(4) 平成29年度事業報告について

資料により説明

《質疑応答なし》

(5) 平成30年度事業計画について

資料により説明

《意見及び質疑応答》

委員：稲築地区公民館の新しい講座の開催については大変喜ばしい事ではあるが、文化協会の全体的な問題として高齢化が進み、会員が減っていくという問題がある。講座をした後のサークル化を境に文化協会に入ってもらおうよう現在取り組みをしている。

委員：フランス刺繍とアロマワックスバーの講師の方はどちらから呼ばれるのか、また、どんな内容なのか。

事務局：飯塚の方から来られる。

委員：講座は昼間か夜間か。何時間の予定か。

事務局：講座は昼間の2時間ほどを予定。

委員：募集はどのようにするのか。

事務局：市報に掲載予定。

委員：参加費は具体的にどのように決まっているのか。

事務局：参加費は無料だが材料費として1,000円程度いただく予定。

委員：将棋教室の対象はどのくらいの年齢か。

事務局：小中学生が対象。参加する子どもの保護者も対象としている。
学校にチラシを配布し、参加を募集する。

委員：それぞれの講座に他の地域の人が参加してもいいのか。

例えば、稲築の講座に嘉穂地区の人が参加することはできるのか。

事務局：将棋教室では稲築地区の小中学生が対象であるため、広報誌には載せず、稲築地区の小中学校にチラシを配っている。フランス刺繍やアロマワックスバーについては、全地区対象であるため、広報誌に掲載する予定である。講座によっては小学生のみの参加や、全地区対象のものがあ、全地区対象のものについては、広報誌に掲載するなどして周知している。

委員：講座の内容によっては、取り組みがしやすいものとしにくいものがあると思う。飯塚市庄内の生活体験学校では、小学生の一泊三日の合宿を、去年は年18回実施した。その中で、市内の小学校3~4校から生徒が参加し、一緒に寝泊まりするのを見て、違う学校の生徒が交わって合宿できるのは、合併したから実行できるものだと感じた。そういった事業の中で、新しい飯塚市と

いうものを子どもたちなりに実感していると思った。

このことから、可能な限り今住んでいる地域で開催されていない講座であっても、他の地域で講座に参加できることで、今まで住んでいる地域だけで参加してきた講座とは違う学びが経験できる。

そのような場面を積み重ねることにより、新しい嘉麻市のイメージをそれぞれが持つことが出来る。その手立て、広報、配慮が大事であると感じている。

委員：前年度の時に基本方針、基本計画の中に要望として挙げていたと思うが、中央公民館の講座の中で地域のリーダー育成を大きく出していたので、公民館活動についてなどの基本的なものについての講座や地域のリーダーの育成を兼ねた講座を計画して欲しい。

事務局：内容については検討中ではあるが、前回よりご意見をいただいております、事務局としても計画していきたいと考えている。以前、ボランティア育成講座を計画したことがあることを聞いているが、一人しか募集がなく実施できなかった経緯があり、通常のボランティア養成講座を計画しても人が集まらないのではないかと感じている。先進地事例などを含めて、もっと興味を持ってもらえる内容を考えた上で計画していきたい。

(6) 先進地視察について

広島県大竹市玖波公民館「学びのカフェ」を先進地視察先として検討
《質疑応答なし》

(7) その他

1) 今後の研修会等について

平成 30 年 6 月 29 日 (金)「嘉麻市公民館職員等研修会」 (夢サイトかほ)

平成 30 年 8 月 10 日 (木)「福岡県公民館大会」 (イヅカコスモスコモン)

9 月予定 「嘉麻市公民館職員等視察研修」

11 月予定 「筑豊地区公民館職員研修会」 (桂川町)

平成 31 年 1 月 23 日 (水)「福岡県公民館実践交流会」 (宗像ユリックス)

委員：6 月 29 日に行われる研修会については、循誘公民館「カレーの日」をされている方が講師とのことで、昨年視察研修で循誘公民館に伺ったが、とてもよい事業であると感じて帰ってきた。

その後、昨年の豪雨被害で、関西からボランティアの派遣が来られた際に、自分たちにも何かできることはないかと思い、夕食のカレーを作って渡したことをきっかけに、大隈分館でも「カレーの日」を始めた。作る側も生き生きとしていて、地域のたくさんの方が来られ、つながりもでき、開催してよかったと感じている。山田地区でも始められるという事で、お年寄りの方は近くでないとなかなか参加できないので、良いことだと思っている。6 月 29 日の研修会のお話を聞いて、広めて行って欲しいと思う。

